KIORITZ

取 扱 説 明 書

iスタート
共立エンジン
（空冷2サイクル）

GE3400MI
（溝切用）

GE3400CI
（カルチ用）

⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

2003/03

はじめに

ご挨拶

・共立エンジンをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本機の特徴 ； iスタート

・iスタートは、エンジンの始動時、スタータを引いたときの回転力がバネを介してクランク軸に伝わるため、ケッチンを感じることなくスムーズに始動することができます。
エンジンの始動は、スタータを素早く引かなければなりませんが、iスタートならそれが容易にできます。

取扱説明書について

・この取扱説明書には、操作や整備に必要な事項が書かれていますので正しく効果的な製品の取扱いができるよう、よく読んで理解してください。
説明をわかりやすくするため、使用している図は現品と異なる場合があります。
・単位はＳＩ単位（国際単位系）を使用しています。（　）内は参考値ですので数%の換算誤差がある場合もあります。
・この取扱説明書は、いつでも読めるように必ず保管してください。
この取扱説明書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から新しく取扱説明書を購入してください。

貸与、譲渡

・この取扱説明書で解説している機械を貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書とともに機械を貸与してください。
製品を譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。

おことわり

・本書に記載されている仕様や解説あるいは説明のために例にあげられている図や内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
・ご不明なことやお気付きのことがございましたら、販売店にご相談ください。

目　　次

はじめに 2
警告表示マークの意味 2
各部の名称 3
正しい作業のために 4
操作方法 6
点検・整備 8
故障診断と対策 10
保管 10
仕様 11

⚠ 注意

スタータグリップを引いてから、遅れてエンジンが始動する場合がありますので、ご注意ください。

重要

・iスタートは、滑らかにリコイルが引けるスタータです。
・スタータグリップが軽く引けない場合や、スタータグリップを引いてもエンジンが始動しない場合は、スパークプラグを外してください。更にリコイルを引いても重いときは、エンジン内部の故障ですので、そのままお買い求めの販売店へご相談ください。

iスタートリコイルスタータ分解禁止
スタータグリップが軽く引けない場合は、スタータ内のバネが巻き込まれた状態ですので、スタータケースを外さないでください。

警告表示マークの意味

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注意

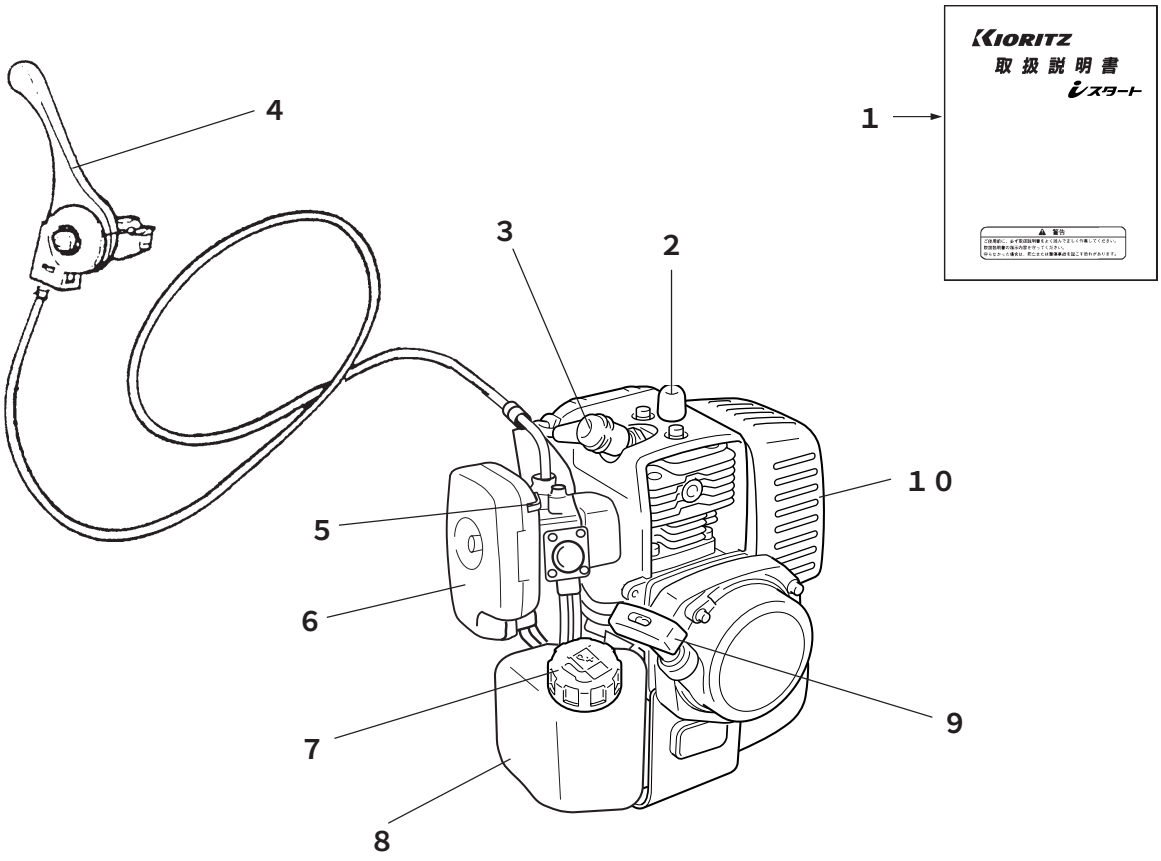
その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている機械の使用、点検、保守・保管に関する重要な注意事項です。

各 部 の 名 称



各部の名称とその機能

１．取扱説明書　－機械をお求めになったとき必ず付いています。
機械を使用する前に必ず読んでください。また正しい操作方法を再確認する場合に備えすぐ取出せる場所に、必ず保管してください。

２．ストップスイッチ　－エンジンを停止するときのスイッチです。

３．スパークプラグ　－エンジンの頭部に組付けられ、燃料に点火するものです。

４．スロットルレバー　－エンジン回転数を指で調節するためのものです。

５．チョークレバー　－冷えているエンジンの始動時に、燃料と空気の混合を調整します。

６．エアクリーナカバー　－エアフィルタを保護しています。

７．燃料タンクキャップ　－燃料タンクを密封するふたです。

８．燃料タンク　－燃料を入れる容器です。

９．スタータグリップ　－エンジンを始動するときに使用します。iスタート

１０．マフラカバー　－消音器（マフラ）をカバーし、作業者が不用意に熱いマフラに触れるのを防ぎます。

正しい作業のために

●この取扱説明書を注意してよく読んでください。
●この機械の取扱いと正しい使い方について、完全に慣れてください。
●エンジンの正しい始動方法と、正しい停止方法を覚えてください。
●エンジン部単体での運転はしないでください。
●引火しやすいので、燃料の取扱いには注意してください。
a) 転倒しにくい燃料容器を使用してください。
b) 燃料の補給中にタバコを吸ったり、火花を出したりしないでください。
c) 燃料タンクには、外部との間に気圧差が生じています。燃料を補給するときは、燃料タンクキャップをすこしゆるめて、気圧差を取除いてください。



d) 燃料タンクに燃料を補給するときは、屋外の舗装されていない地面の上で行なってください。
屋内では燃料を補給しないでください。
e) エンジンが熱いときや、エンジンを始動したままでの燃料補給は絶対にしないでください。
f) 燃料を補給した後は、燃料タンクキャップを確実に締めてください。
g) 機械に燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。
エンジンを始動する前に、燃料を補給した場所から３m以上移動してください。
h) 燃料タンクに燃料が残っている状態で、機械をしまわないでください。燃料漏れがあった場合火災の原因となります。

●この機械を操作する人は、心身ともに健康でなくてはなりません。子供には使用させないでください。酒を飲んでいる人、薬物の影響がある人は、機械を操作しないでください。視覚や敏しょう性、判断力に影響をおよぼします。機械を使用する前に、作業を行なう場所をよくチェックして、機械が跳ね飛ばしそうな物を取除いてください。また、障害物の位置を覚えておいてください。
●使用する前に機械をよく点検してください。整備、調整は、この取扱説明書に記載されていることだけ行なって、適切な指示、指導を受けずに修理しないでください。訓練を受けたサービスマンだけが、適切な道具でこの機械の修理点検を行ないます。

以下の点検を行なってください。
a) エンジンから燃料が漏れていないか。
b) ボルトなどの止め金具がしっかり締まっていて抜け落ちがないか。
c) マフラ（消音器）は、良好な状態にあるか。
マフラ、マフラカバー、ガスケットのゆるみ損傷がないか。

基本的な操作

⚠ 警告

・エンジンの排気ガスには、死に至る有毒なガスが含まれています。屋内や通気の悪い場所でエンジンを始動しないでください。
・夜間や、視界が悪く暗い場所では、機械を絶対に操作しないでください。

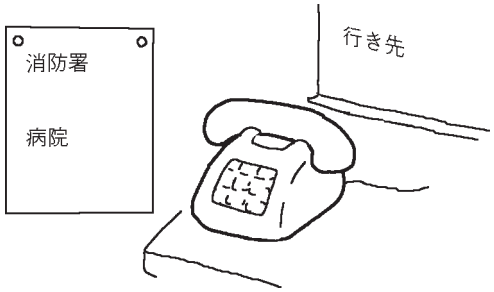
●エンジンが熱いうちは、火傷を防ぐため、マフラ（消音器）に身体を近づけないでください。
●機械が突然ぶれたり、振動したら、直ちにエンジンを停止してください。
突然の振動は、フライホイール、クラッチ、部品のゆるみなど危険な故障の前兆です。
故障の原因がわかり、修理が終わるまで機械を使用しないでください。

●この取扱説明書に記載されている全ての整備と調整は、販売店で行なうことができます。また、この取扱説明書の記載に従って、ご自身で行なうことができますが、できるだけ販売店にご相談ください。
●機械の重要な部分のサービスや修理は、全て販売店で行ないます。整備不良の機械や、当社の認可を受けず勝手に改造した機械を使用しないでください。

万一の事故に備えて

⚠ 警告

作業中、エンジンから発火または発煙したら、まず、機械から身体を離し、自分の身体の安全を確保してください。



●作業の前に

・万一の事故に備え、電話機のそばの目につきやすい場所に、医療機関、消防署（救急車）の電話番号を明確にしておいてください。
特に消防署への連絡の場合、救急車のための目標地点（住所、目標となる建造物など）も明確にしておくと、的確な連絡に役立ちます。

・単独で作業する場合、どこで作業を行なっているかが他の人にもわかるような方法（黒板に作業現場をメモするなど）を講じてください。
負傷し動けなくなり帰れなくなった場合の対処として有効です。

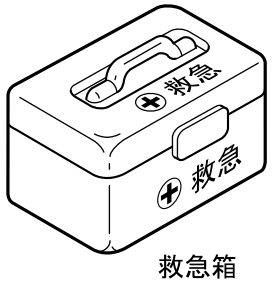
・作業現場では、呼子（笛）を携帯してください。



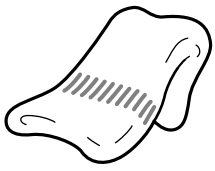
シャベルまたは消火器を用意する。

●発火に対する備え

・自分の身体を、火災その他の傷害から守るように注意してください。
草木などに類焼しないよう注意してください。
シャベルで砂などをかけるか、または消火器で消火してください。



救急箱



タオル、てぬぐい

●ケガへの備え

・万一のケガへの備えとして、応急手当用品の入った救急箱を用意してください。
出血をともなうケガについては、止血用に汗拭き用のタオルや、てぬぐいなども有効ですので、常時余分に作業現場へ携帯することをおすすめします。

●応急手当

・ 応急手当については、地域の消防署や消防組織（消防団など）で知識、技能の普及につとめていますので、それらの講習、訓練を受け、基本的な知識を習得されることをおすすめします。

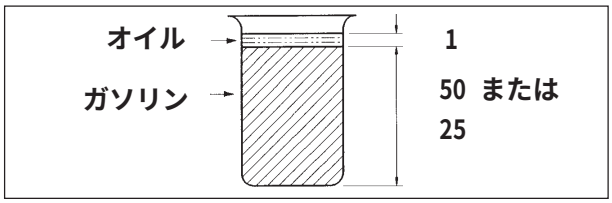
操　作　方　法

⚠ 警告

・引火しやすいので、燃料の取扱いは火災に充分注意してください。
燃料の補給中にタバコを吸ったり、火花を出したりしないでください。
・エンジンが熱いときや、エンジンを始動したままでの燃料補給は絶対にしないでください。
・作業中、万一、エンジンから発火または発煙したら、機械を身体から離し、身体の安全を確保してください。

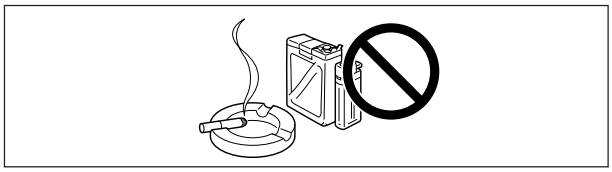
⚠ 注意

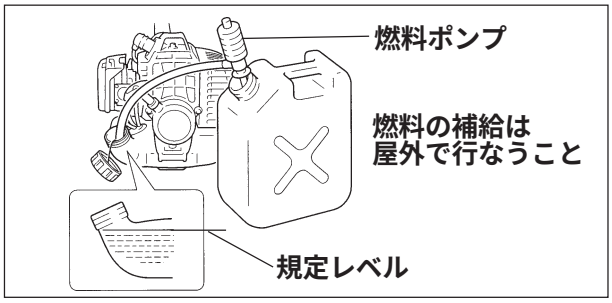
燃料を補給する際はポンプを使用し、機体が安定した状態で給油口からこぼれないように注意して補給してください。
傾斜地では補給しないでください。
機械に燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。

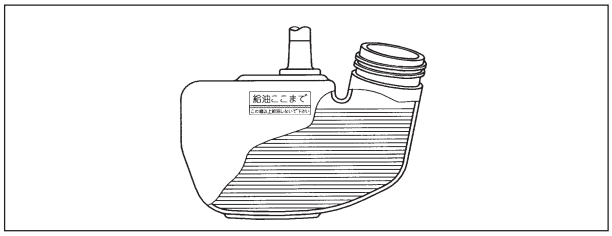


燃料混合比率表

ガソリン	2サイクルエンジンオイル	
L	mL	
	50：1	25：1
4	80	160
8	160	320
20	400	800







燃料の取扱い

重要

・混合燃料の長期保管は劣化しやすいので、燃料は使用する分量だけ混合してください。
燃料の混合は、機械の燃料タンクで行なわないでください。
・燃料タンク、燃料タンクキャップ、燃料タンクブリーザ、燃料パイプなどは使用前に点検し、異常が発見された場合は使用せず交換してください。
・ＪＡＳＯ性能分類：２サイクルエンジンオイルの潤滑性能順にＦＣ、ＦＢ、ＦＡの３種類に分類し表示します。共立純正２サイクル専用オイルは「ＦＣ」で、混合比「５０：１」で使用します。

●本機の燃料にはレギュラーガソリンと、２サイクルエンジンオイルを混合した燃料を使用してください。正しくない燃料はエンジン機能不良の原因となります。
●燃料の混合比は、２サイクルエンジンオイルの種類により下記の通り使用してください。
・共立純正２サイクル専用オイル　;[５０：１]
ＪＡＳＯ性能分類　ＦＣ
・２サイクルエンジンオイル　;[２５：１]
ＪＡＳＯ性能分類　ＦＢ、ＦＡ

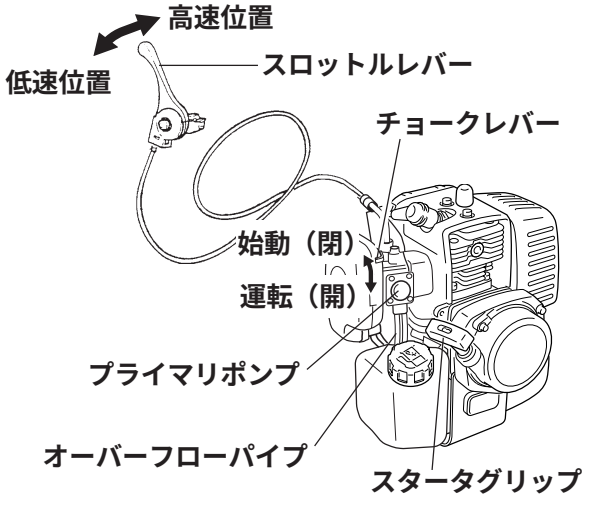
●ガソリンとオイルの混合はガソリン用の容器を使用し、よく混合してください。
●燃料タンクには、外気との間に圧力差が生じています。燃料を補給するときは、燃料タンクキャップをすこしゆるめて、圧力差を取除いてください。
●燃料タンクに燃料を補給するときは、屋外の舗装されていない地面の上で行なってください。
屋内では燃料を補給しないでください。
●エンジンが熱いときや、エンジンを始動したままでの燃料補給は絶対にしないでください。
●燃料タンクの横に指示した[給油ここまで]の線以上に給油しないでください。このレベル以上に給油すると、使用時気化器から燃料が漏れることがあり、火災の原因になります。
必ず規定レベル以下に補給してください。
●燃料を補給した後は、燃料タンクキャップを確実に締めてください。
●エンジンを始動する前に、燃料を補給した場所から３m以上移動してください。
●燃料タンクに燃料が残っている状態で、機械をしまわないでください。
燃料漏れがあった場合、火災の原因となります。

⚠ 警告

エンジンの排気ガスには、死に至る有毒なガスが含まれています。屋内や通気の悪い場所でエンジンを始動しないでください。

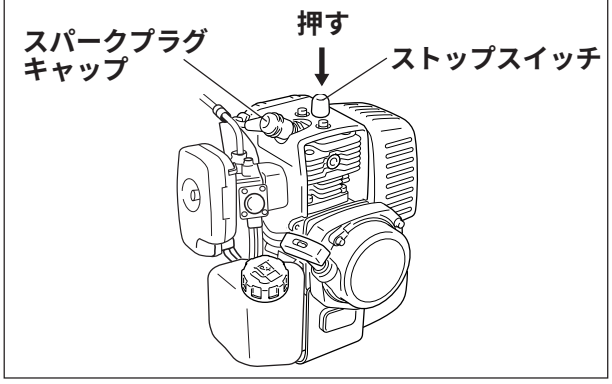
⚠ 注意

- エンジンを始動する前に、ボルトやナット、ネジが締まっているか確認してください。
  ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。
- 燃料が漏れていないか確認してください。
  燃料が漏れている場合は、エンジンを始動せずにお買い求めの販売店にご相談ください。
- 機械の周囲は充分に広くとり、人、動物は近づけないこと。また、障害物がないことを確かめてから始動してください。
  作業を始める前に、必ず作業する現場の障害物を取除いてください。
- 機械は地面にしっかりと押え、始動してください。
- スロットルレバーを開いて始動する場合、エンジン始動と同時に本機の駆動装置部分が動き始めますので、充分に注意してください。



⚠ 注意

ストップスイッチが適切に作動しない場合は、機械を再び使用する前に、お買い求めの販売店にストップスイッチの点検と修理を依頼してください。



冷えたエンジンの始動

重要

- スタータグリップを引くときは短めに引き、引き紐の１／２から２／３の長さで引いてください。
- スタータグリップを戻すときは、途中で手から離さないでください。
- **アイドリング（低速回転）に戻さずにチョークストップなどでエンジンを停止すると、故障する恐れがあります。**
- **緊急時以外は必ずアイドリング（低速回転）状態にして停止してください。**

始動の際は、次の要領で始動してください。
順序を間違えると始動が困難になる場合もありますので注意してください。

- スロットルレバーを低速の位置にします。
- チョークレバーを「閉」の位置にします。
- オーバーフローパイプに燃料が見えるまで、プライマリポンプをくり返し押してください。
- 本機をしっかり押えてスタータグリップを引きます。
- 最初の爆発音がしたらチョークレバーを「開」の位置にして、更にスタータグリップを数回引くと始動します。
- 始動したら低速のままでしばらく暖機運転をしてください。
- ロープは全部引ききらないでください。
- 上の要領でスタータグリップを３回引いても始動しない場合は、スロットルレバーを開いてから、再度スタータグリップを引いてください。
- 始動後アイドリング（低速）が持続しない場合は、同じ操作をくり返してください。

暖まっているエンジンの始動

- スロットルレバーを低速の位置にします。
- チョークレバーを「開」の位置にします。
- 燃料タンクがカラでなければスタータグリップを引いてください。
- 燃料タンクがカラの場合、燃料補給をした後、オーバーフローパイプに燃料が見えるまで、プライマリポンプをくり返し押してください。
- スタータグリップを引いてください。

エンジン停止

- **スロットルレバーを低速の位置にし、エンジンをアイドリング（低速回転）状態にしてください。**
- しばらくそのままで冷却運転を続けてからストップスイッチを押してエンジンを停止します。

機械を使用しないときや、機械から離れるときは、必ずスパークプラグキャップを抜き、エンジンが始動しないようにしてください。

点　検・整　備

⚠ 注意

・点検・整備をする前に必ずエンジンを停止し、冷えた状態でスパークプラグキャップを外して作業してください。
・発火テストは、シリンダのプラグ穴の上ではしないでください。シリンダ内の混合気に引火し、火傷の恐れがあります。

整備の目安

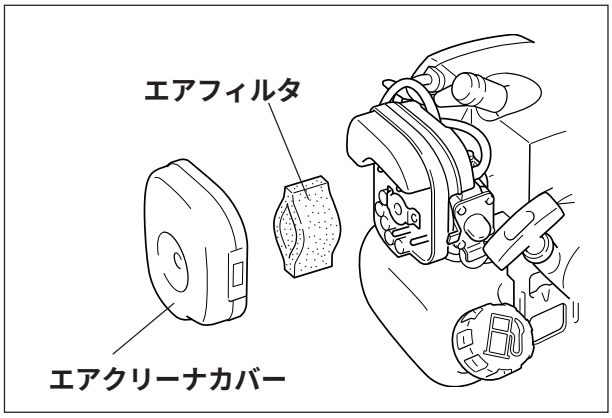
●製品を調子良く、安全に使用するために定期的に点検・整備をしてください。

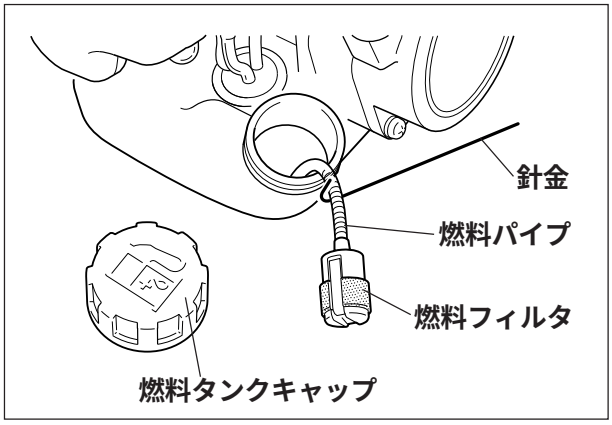
整備箇所	整　備	掲載ページ	使用前	毎　月
エアフィルタ	清掃／交換	8	●	
燃料フィルタ	清掃／交換	8	●	
スパークプラグ	点検／清掃	9		●
キャブレタ	調整	9		●
冷却装置	点検／清掃	9	●	
マフラ	点検／清掃	9	●	
スクリュ、ボルト、ナット	点検、増し締め／交換	-	●	

注意事項：ここに示した整備の時間的間隔は、最長時間です。実際の作業や、今までの実績から判断して必要な整備間隔／頻度を決定してください。

重要

・エアフィルタが非常に汚れていたり、破損している場合は交換してください。
・エンジン冷却風の入口や、シリンダフィンにゴミなどが詰まりますとエンジン焼き付きの原因となります。
・シリンダ排気口の清掃の際、ピストンを傷つけないように注意すること。





点検要領

リコイルスタータの点検（分解禁止）

●スタータグリップが軽く引けない場合、エンジン内部の故障ですので、分解せずにお買い求めの販売店へご相談ください。

エアフィルタの清掃

ご使用前に点検してください。

1. チョークを閉じてから、取付ネジをゆるめ、エアクリーナカバーを外してください。
2. エアフィルタを外してください。
3. 汚れをブラシで落とすか、中性洗剤で洗ってください。洗剤を使用した場合は、充分に水洗いをし、よく乾かしてください。
4. エアフィルタを元の位置に取付けてください。
5. カバーを取付け、取付ネジを締めてください。

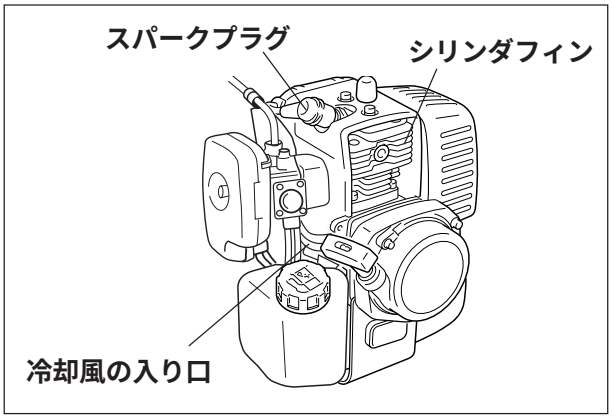
燃料フィルタの交換

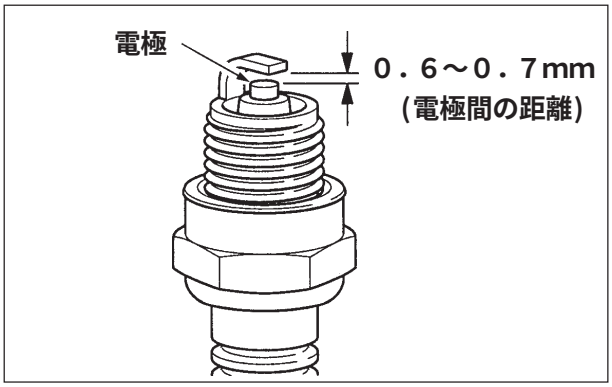
ご使用前に点検してください。

1. 燃料タンクキャップを外してください。
2. 針金などで燃料フィルタを引っ掛け、燃料タンクの給油口から取出してください。
3. 燃料フィルタ部分が黒く硬くなっている場合は汚れていますので交換してください。
4. 燃料パイプから抜きとって新しい燃料フィルタと交換します。
5. 燃料タンクの給油口から燃料フィルタを入れて、燃料タンクキャップを締めてください。

燃料パイプ、燃料グロメット、燃料タンクガスケット

●ご使用前に燃料を補給した後、燃料パイプ、燃料グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。
●燃料の漏れ、にじみがある場合は、火災の危険がありますので、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検、交換を依頼してください。
●燃料パイプ、グロメット、ガスケット類を取付け、取外しするときは、傷をつけないように、先端が鋭利な工具類は使用しないでください。また、取付け後は各部から燃料の漏れ、にじみがないことを必ず点検してください。



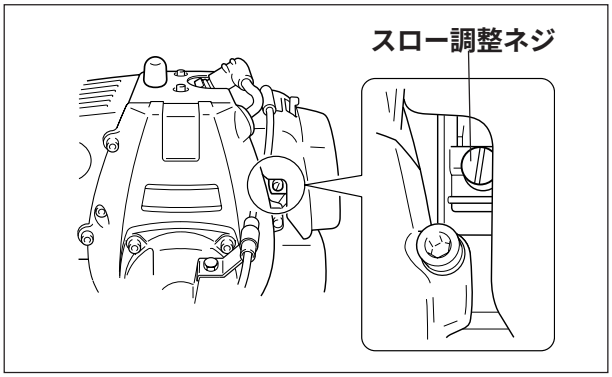


⚠ 注意

エンジンがアイドリング状態のとき、駆動軸が回転してはならない。

重要

・工場出荷時にキャブレタは最高の性能が引き出せるよう設定されていますが、次のような場合にはキャブレタの調整をしてください。
　1．エンジンが始動しない
　2．エンジンが停止する
　3．アイドリング時も駆動軸が回転している。
・スロー調整ネジ、高速調整ネジは締めすぎないこと。強く締めすぎるとキャブレタを破損します。



冷却装置の整備

ご使用前に点検してください。

- シリンダフィンの間のゴミと汚れを取除いてください。
- エンジンの底部と燃料タンクの間にある冷却風の入口の周りに付いた、ゴミなどを取除いてください。

スパークプラグの点検

月に一度は点検してください。

1. 付属のソケットレンチ（１９mm）でスパークプラグを外してください。
2. 電極が減っているとき、すき間不良のとき（正しいすき間は０．６～０．７mm＝ハガキ３枚分の厚さ)、また電極の周囲にオイルや堆積物が付いているときは、新しいプラグと交換してください。
3. スパークプラグは、付属のソケットレンチでしっかり締付けてください。
　参考 ： 締付けトルクは１５～１７N・m
　　(１５０～１７０kgf・㎝)です。

マフラの点検

- マフラの締付けボルトにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は、六角レンチで増し締めをしてください。

キャブレタの調整

全てのエンジンは出荷時に試験運転をし、キャブレタは最高の性能が引き出せるよう設定されています。この設定を変更する場合は、必ず、正確な回転計を使用し行なわなければなりません。（１１ページ「エンジン」の項を参照してください。）回転計がない場合は、基本設定の変更だけ行なうことをおすすめします。

キャブレタ調整を行なう前に、エアフィルタの清掃/交換を行ない、エンジンを数分間運転してください。

スロー調整ネジ

- アイドリング（低速回転)の回転数を調整するときは、キャブレタ本体のスロー調整ネジを回して調整してください。
　スロー調整ネジを右に回して駆動軸が回りはじめるところから１回転程度戻してください。

調整してもエンジン回転不調の場合は、お買い求めの販売店へご相談ください。

故障診断と対策

⚠ 警告

交換・清掃・調整してもトラブルが解消しないときは、お買い求めの販売店へご相談ください。

エンジンの調子が悪く故障診断するときは、まず次のことを確認してください。

● 燃料タンクに燃料が入っていること。

故障内容			原因	対策
エンジンが始動困難、または始動しない				
クランク軸が回転する →	キャブレタの燃料 → ↓	キャブレタに燃料がない	●燃料フィルタの目詰まり ●燃料系統の目詰まり ●キャブレタの不良	●清掃／交換 ●清掃 ●販売店へ
↓	シリンダの燃料 →	シリンダに燃料がない	●キャブレタの不良	●販売店へ
↓	→ ↓	プラグが燃料で湿っている	●空燃比（空気と燃料の混合比）が濃すぎる	●チョークを開く ●エアフィルタ清掃／交換 ●キャブレタ調整 ●販売店へ
↓	プラグコードの先端で発火する → ↓	プラグコードの先端で発火なし	●電気的故障	●販売店へ
↓	スパークプラグは発火する → ↓	スパークプラグが発火しない	●電極の隙間が正しくない ●カーボン（炭素）の堆積 ●燃料による汚れ ●スパークプラグの不良	●0.6～0.7 mmに調整 ●清掃／交換 ●清掃／交換 ●交換
クランク軸が回転しない	↓		●エンジン内部の故障	●販売店へ
エンジンは始動する ↓	持続しない、または加速不充分 ↓		●エアフィルタの汚れ ●燃料フィルタの汚れ ●燃料通路の詰まり ●スパークプラグの不良 ●キャブレタの不良 ●冷却装置の詰まり ●排気口／マフラ出口の詰まり	●清掃／交換 ●清掃／交換 ●清掃 ●清掃、調整／交換 ●調整 ●清掃 ●清掃

保管

⚠ 警告

燃料ガスが充満している密閉された場所や、裸火、火花のある場所に保管しないでください。

重要

この取扱説明書は、いつでも読めるよう保管してください。

長期保管（60日間以上）

機械を長期間（60日以上）にわたって保管する場合は、以下に示す保管の際の整備を必ず実施してください。

1. 燃料タンクを完全にカラにしてください。
   A. 燃料タンク内の燃料を抜き取ってください。
   B. エンジンを始動し、自然に停止するまで運転してください。
2. 機械の外側に付いたグリース、オイル、ホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
3. 本書に定められた定期的な点検をしてください。
4. スクリュ、ナット類が締まっているか確認してください。
   ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。
5. スパークプラグを外し、その取付穴から大さじ1/2杯の、新しくきれいな2サイクルエンジンオイルをシリンダに入れてください。
   A. スパークプラグの取付穴の上にきれいな布を掛けてください。
   B. スタータグリップを2、3回引いて、エンジンオイルをエンジンに行き渡らせてください。
6. スパークプラグを取付けてください。
   （スパークプラグキャップは接続しないでください。）
7. 機械を乾かし、子供の手の届かないホコリのない場所に保管してください。

仕　　様

項　　目	単　位	形　　式	
		GE3400MI	GE3400CI
質量　（燃料除く）	kg	４．０	
容量 　燃料タンク	L	１．１	
駆動軸回転方向 （出力軸から見る）		反時計方向	
外形寸法 　長さ×幅×高さ	cm	２０ × ２４ × ２７	
エンジン 　形式 　排気量 　最大出力時エンジン回転数 　アイドリング回転数 　クラッチ作動開始エンジン回転数 　キャブレタ形式 　点火方式 　スパークプラグ 　始動方式 　動力伝達方式	 mL r/min r/min r/min	 空冷２サイクル単シリンダ ３０．５ ７，０００ ３，０００±５００ ３，８００～４，２００ ＴＫ循環式 フライホイールマグネト電子点火；ＴＣＩ方式 ＮＧＫ　ＢＰＭ７Ａ リコイルスタータ　iスタート 自動遠心クラッチ	
燃料混合比		[レギュラーガソリン：２サイクルエンジンオイル] ・共立純正２サイクル専用オイル 　ＪＡＳＯ性能分類　ＦＣ　　;[５０：１] ・２サイクルエンジンオイル 　ＪＡＳＯ性能分類　ＦＢ、ＦＡ　　;[２５：１]	
最大エンジン出力時燃料消費量	L/h	０．７７	

＊ この仕様は予告なしに変更することがあります。

株式会社 共立

東京都青梅市末広町 1-7-2　〒 198-8711　☎0428-32-6181

北海道共立エコー株式会社
札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　〒 004-0041　☎011-891-2249(代)

東北共立エコー株式会社
仙台市若林区卸町東 5-1-50　〒 984-0002　☎022-288-0511(代)

東部共立エコー株式会社
青梅市末広町 1-7-2　〒 198-0025　☎0428-32-1091(代)

中部共立エコー株式会社
愛知県西春日井郡西枇杷島町宮前町 1-39　〒 452-0031　☎052-502-4111(代)

西部共立エコー株式会社
岡山市藤田 566-159　〒 701-0221　☎086-296-5911(代)

九州共立エコー株式会社
大野城市白木原 5-3-7　〒 816-0943　☎092-573-5361(代)

エコーレンテックス株式会社
青梅市末広町 1-7-2　〒 198-0025　☎0428-32-6777(代)

◎ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X750-005 46 0
X750 509-060 0